

日本学術会議・経済学委員会・国際開発研究分科会  
第24期・第2回議事要旨

開催日時：2019年4月25日（木）、16:00-17:30

場所：日本学術会議事務局 5-D 会議室（5階）

出席者(敬称略)：黒崎、溝端、櫻井、三重野、浜口、高阪、園部、高橋、浦田（9名）

欠席者(敬称略)：宮越(1名)

- (1) 前回議事録要旨を確認した。
- (2) SDGs（持続可能な開発目標）について、以下の報告と議論が行われた。
  - ・ 別添配付資料に基づき、浜口黒崎委員から「地域の多様性と SDGs：空間経済学の視点」について、園部委員から「SDGsとカイゼン」について、高橋委員から「インフォーマルなものづくりと SDGs」について報告され、それに基づいて議論が行われた。国際開発・開発経済学の各側面と SDGs との関係について吟味が行われ、都市の集積と生活水準の動学的な関係の中で政策介入が意味を持つこと、経済発展戦略としての「カイゼン」活動は、多面的に SDGs の理念と重なるところがあること、主にアフリカにおけるインフォーマル部門の製造業には SDGs の理念に沿った生活改善の効果が見られること、などが議論された。
- (3) 分科会「報告」にむけて
  - ・ 今期は可能な範囲で分科会を開催し、議論が一定程度深まった場合には分科会として「報告」を提出することを目指す、ことを確認した。
- (4) その他

以上